

コウガの森・共和から

園長 小林 崇

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。平成30年の新春を健やかにをお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

冒頭から私事になりますが、昨年度は私の家族にとって「変化の年」でした。

妹は結婚し、弟は社会人1年目、私は園長1年目と、それぞれに新しい生活と挑戦の中で過ごした年でした。この年末年始は父・母、弟、妹夫婦とともに先祖の墓参りをし、久しぶりに会う親族とともに食事をするなど、ご縁のある方々とともに年を迎えることができました。

新たにご縁とこれまでのご恩への感謝、昨年の自分自身の至らなさを痛感しながら、今日、保育始業の日を迎えています。

さて、昨年を振り返ってみますと、平成29年度は園にとっても「変化の年」でした。

幼保連携型認定こども園移行にあたって、建築や認可の申請が3月まであり、あっという間に4月の入園式・始業式を迎えました。日々が振り返る余裕なく過ぎていきましたが、子どもたちや職員の成長に元気と勇気をもらい、園の運営にあたってこれたことを振り返っています。

園の中では毎月1回の定期的な職員研修の実施やおじいちゃん・おばあちゃんようこそ等の新たな行事の開催など、園としての新たな試みも実施することが出来ました。

コウガの森・共和として生まれ変わり、新米園長のもと、こうして新たな年が迎えられるのも、皆様方のご理解とご支援ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

若い園ゆえ至らない点もあったかと思いますが、反省を生かし少しでも多くの期待や要望に応えられるよう新たに努力をして参る所存です。

本年も「芯の強い子どもを育てる」の創立の理念のもと、子どもの成長のために、職員のスキルアップのために、一生懸命に教育・保育を行なっていきますことをお誓い申し上げて新年の挨拶とさせていただきます。本年も宜しく願い申し上げます。



各クラスから「来年度に向けて」のメッセージがあります。どうぞご覧ください。